

## 【別紙】

### 空港版インフラドクターおよび実証実験の詳細

#### ○実証実験の範囲と内容

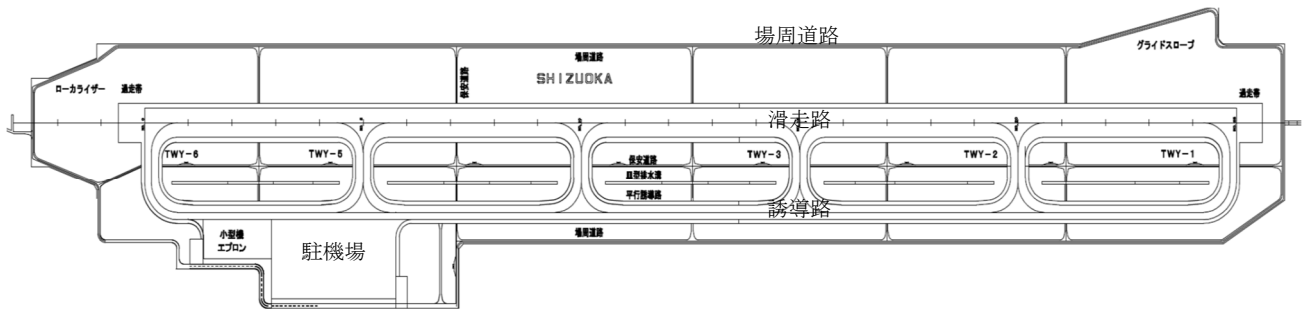
実証実験は、富士山静岡空港(約120ha)を対象に行います。

空港の滑走路・誘導路・駐機場(エプロン)・場周道路の全面で3次元点群データの取得を行うとともに、滑走路と駐機場の一部で路面性状調査を行います。

路面性状調査を実施するため、3次元点群データのほか、ラインセンサカメラを装備し、高精細画像からひび割れなどを検出します。



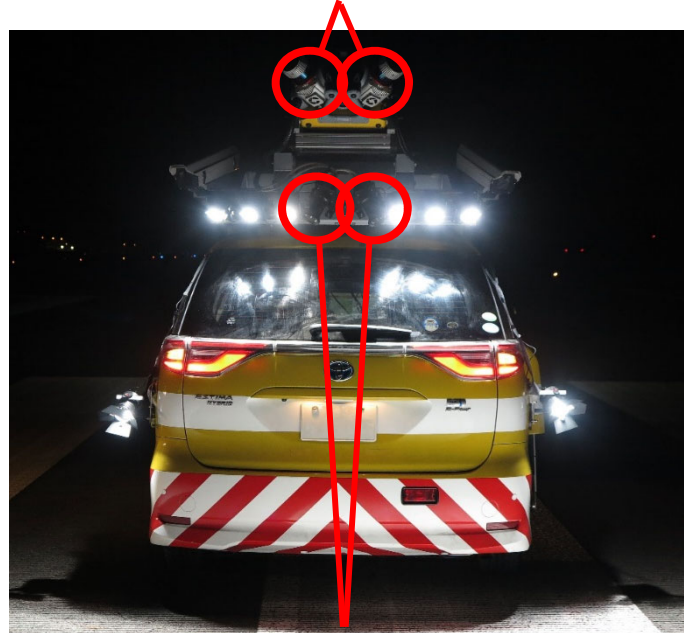
3次元点群データ計測車両



富士山静岡空港 平面図

#### ○計測機器 概要

##### レーザスキャナ(3次元点群データの取得)



ラインセンサカメラ(ひび割れの検出)

#### 【参考ニュースリリース】

●2018年9月19日

「日本初！地理情報と点群技術を活用した鉄道保守管理システムを東急グループと首都高グループが共同開発」

URL: <https://www.tokyu.co.jp/image/news/pdf/20180919.pdf>

●2019年3月13日

「富士山静岡空港 次世代型の施設運営・管理モデル構築へ」

URL: <http://www.mtfuji-shizuokaairport.jp/information/20190313newsrelease>